

上村は現島地市と山畑地区を徳地下村と称したことに對して上村と呼ぶ。島地市の地域は鎌倉時代から市が立ち賑わっていた。上村地区も隣接する地域として延命2年(1674年)に上村市として毎月7日、17日、27日の開催が許された。農業を中心とする地域ながら、多少の商売も行い、比較的富裕であった歴史をもつ。徳山に近いことから兼業農家がほとんどであるが、イチゴやピーマンなどの野菜づくりも盛ん。

①あさぎり館

この地域の方々の集会所です。駐車場とトイレを借りましょう。

②月輪寺(がちりんじ)薬師堂(国の重要文化財)

山口県最古、1189年(鎌倉時代)の木造建築である。月輪寺薬師堂は重源上人が鹿野にあった清涼寺(聖徳太子創立と伝えられる)が荒れ果てていたことに心痛められて、そこに残された薬師像をここに堂宇を建て安置されたとその縁起書にある。月輪寺という名前は重源上人をバックアップしていた藤原兼実が月輪殿と呼ばれていたことから。本尊は秘仏で20年毎にご開帳がある。本尊を納めてある唐様の厨子は1489年(室町時代)の貴重なものである。

薬師堂の裏にも石風呂がある。20年前までは近所の方が使われていた。

裏山の石仏の33観音は明治中期に地元の有志が建立した。

③巖島神社(新宮様)

安芸の巖島神社から天禄3年(972年)に勧請したとある。もとは西村の平岩(古新宮)にあったが、延宝5年(1677年)にこの地に移された。高い石段の足元にある常夜燈には今も毎晩燈がともされる。自然石を生かした賽銭箱は珍しい。鳥居をくぐりながら石段を上ると、思いがけないほど整った社殿がある。本殿、幣殿、拝殿が揃い、向拝にある立派な彫刻も見もの。境内には奉納相撲の土俵跡、参籠所があり、村人の楽しみの場でもあったことがうかがえる。紅葉の古木あり。

④五社様

加茂、春日、八幡、山王、稲荷の五社大明神を祭る神殿を陶興房が創立した(1514年)のが始まり。今はその社殿跡地に石の祠が残る。

⑤猿田彦大神

上村橋の袂、巖島神社のお旅所に鎮座される。ここの猿田彦は巖島神社のお旅所にあることから、祭事の際の導きの神様としてここに祭ったと思われる。猿田彦はニニギノミコトが高天原から日向にくだるときに道案内をされたとか、神武天皇が大和に下られる時、道案内をされたとか。容貌魁偉でその事から天狗と混同されたり、アマノウズメノミコトと夫婦とされたり、よく話題に上る神様。

⑥稲荷神社

月輪寺鎮守を担う。ここの常夜燈にも毎夜燈がはいるという。

⑦愚痴聞地蔵

龍蔵寺(山口吉敷)の愚痴聞き地蔵様のお言葉を戴いてきたもの。誰かに聞いてもらいたい心のわだかまりをお地蔵さんの前でほぐしてリフレッシュしよう。

⑧極楽寺跡

重源上人建立の4つのお寺「安養(現・法光寺)、西方(現・西宗寺)、極楽、浄土(西宗寺に合併)」のひとつ。鎌倉時代から大内政権時代には相当規模の寺院があり、阿弥陀信仰のよりどころであった。毛利藩政中期に廃寺となった。今も西村集会所の中に立派な阿弥陀仏が保存されている。

⑨大師堂

今も毎月、御大師講が開かれ、念仏があげられている。

プロジェクトとして2011/4未確認

(探検・探索の種も残してあるよ)

長者原(松岡石材周辺)

良質の御影石の採石地。ここからは長者の墓や、門柱や経筒が出土した。この経筒は平安後期の作と見られ、現在は月輪寺が管理されている。

八幡宮跡(大町)

花尾八幡宮は創建当時ここにあった。このあたりで土砂を採取中、弥生時代の壺棺4器が出土するなど、古代集落があったことが確認されている。

神馬の蹄あと(新宮の山頂)

972年に巖島神社社殿を建てて祭ったとき、「われ、ここにおいて永久に人民の農益を守らん」と、神託があったという。この時山頂の大岩に神馬の蹄あとを残したといわれる。